

本願寺長野別院からの手紙<春夏号>



(長野別院・定専寺・善立寺)

長野別院

〒380-0845 長野市西後町 1653 / TEL 026-232-2621 / http://www4.hp-ez.com/hp/naganobetsuin

不安と恐怖が生み出したもの

本願寺長野別院輪番

齋藤 英明

六月を迎え、私たち別院職員は冬用の衣から、シーズルーとも言える夏用の衣に衣替えを済ませました。これで気分一新といきたいところですが、新型コロナウイルスの猛威によって尊いのが奪われるなど、私たちの日常をも奪われ、経済は大混乱に陥り、大きな不安と恐怖を抱えなければならぬ生活を余儀なくされました。あらためてお見舞い申しあげると共に、いのちを守る活動にご尽力くださる方々に感謝し、敬意を表する次第です。

ウ

イルスという「見えない敵との戦い」と表現されていますから、医療従事者の方々はまさに最前線で、使命感のもとに不安を抱えながら携わってこられたのだらうと思います。見えないけれども「ある」ということを思うとき、私が生まれ育った山口県に、金子みすゞという方がいらっしやいました。彼女の詩に「星とたんぽぽ」というのがあります。

青いお空の底ふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまで沈んでる、
昼のお星は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、



見えぬものでもあるんだよ。

散ってすがれたたんぽぽの、
瓦のすきに、だアまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

一

の詩が思い起こされます。見えないけれども大きな「はたらき」によって、私たちが安心して生活できることは「あたりまえ」だったのです。その「あたりまえ」こそが実は「有り難い」ことであつたと、このたび多くの人が実感しています。

その一方で、「見えないもの」「よく解らないもの」の恐怖が私たちを不安にさせています。もしかしたら自分も知らない間に感染していてのちの危険に至るのでは。あるいは周りの人に迷惑をかけているのではと、その不安がさらなる不信と恐怖を生み、「見えないもの」「よく解らないもの」を近づけないために、あつてはならない偏見や差別の現実が報道されています。そこに「人間」の弱さがあるといえますが、それは決して他人事ではありません。

少

しずつこれからは、もとの生活のありように戻っていかねばなりません。偏見や差別もあつてはなりません。そのための歩みを

ご一緒にすすめたいと思います。

現

代社会において、こんなにも不安が取り巻いて、すべてが自粛を余儀なくされた生活の中にあつて、みんな不安だつたんですよね。もしかすると、その不安と恐怖から何もできず、遠慮されたことはないですか。大切な人、親しかった人と死別があつたとしても、自粛を要請される中であつては様子が違つていたかも知れません。関係する方々にもお知らせできずに今に至つていらっしやるご遺族もあるかもしれません。もし、このようなことで悩みを抱えていらっしやつたなら、ご相談ください。ご一緒に考えていきたいと思ひます。

最

後に、仏さまも目に見えませんが、私に向けて大きな願いを届けていてくださいます。それが私の口から出てくる「南無阿弥陀仏」です。それはちょうど、親子の関係から味わえます。我が子を最優先にする親のはたらきがあればこそ、赤ちゃんが次第にしゃべれるようになった頃、その人を疑うことなく「おかあさん」と口にするのと同じです。親が親としての働きと願いをもって接してくれているからです。仏さまは見えますが、見えないう大きな願いで私を安心にしてくれるのです。

※どうぞ、お気軽にお寺にご相談ください。

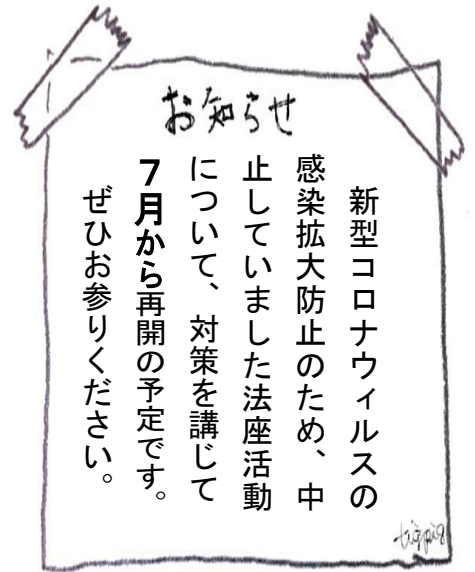
称名





長野別院からのお知らせ・おねがい

長野別院 〒380-0845 長野市西後町 1653 / TEL 026-232-2621 / URL: <http://www4.hp-ez.com/hp/naganobetsuin>



新型コロナウイルスの
感染拡大防止のため、中
止していました法座活動
について、対策を講じて
7月から再開の予定です。
ぜひお参りください。

◇御命日法要・常例法座

講師 佐々木 蓮乗 師 (兵庫県宍粟市 西願寺)

7月16日(木) 午後1時30分から

17日(金) 午前10時から

◇新盆法要

8月10日(月) 午前10時30分から

余談

お盆のお話で、お釈迦様の弟子の一人、目連尊者のお母さんが、餓鬼道の苦しみから救われる話があります。親として、我が子可愛いがためにしてきた報いで、餓鬼道の苦しみを受けねばならなかったのです。親の恩、亡き方を偲ばせていただきます。そして、仏法によってこそ、餓鬼道の苦しみから救われていくことが、このお話のテーマです。
不安な世の中、安心してお参りください。

【帰敬式】

お釈迦さまの弟子となり、浄土真宗の教えの中に生きることを誓う大切な儀式。阿弥陀さま・親鸞さまの御前で浄土真宗の門徒として自覚をあらたにし、おかみそりを受け、「釋○○」という法名をいただきます。

とき 10月24日(土) 10時より

ところ 本願寺長野別院 本堂

冥加金 成人1万2千円(事務費含)

未成年5千円(事務費含)

内願希望者 別途1万円

申込み 9月30日まで(内願は8/21まで)

募集人数30名

※報恩講法要の期間中に行います。
※詳しくはお問い合わせください。

墓地について

現在、別院境内墓地に余裕が生じています。お求めご希望の方はご連絡ください。また、将来的に合葬墓の建設を予定しています。詳しくはお問い合わせください。

お葬儀について

安心できるお寺(別院)を会場に、お葬儀を営むことができます。いつものお寺が会場ですから、経済的負担も軽くなります。ご相談ください。

あなたより
あなたを
思う
方がいる

私たちは、これまでに経験したことがないことを今、経験しています。お寺としても同様です。お寺からご門徒を訪ねていくことも、反対にご門徒がお寺を訪ねることも遠慮することを考えなければならぬ状況です。
そのような中、お寺として何かできればと、文書による活動を再開してみました。今後、時々お邪魔いたしますね。

大変なときは
「大」きく
「変」わるとき
チャンスかも
しれません

◀お問い合わせ▶ お問い合わせやご相談など、遠慮は不要です。お気軽にお尋ねください。(秘密厳守)
長野別院 ☎ 026-232-2621 ホームページ開設 <http://www4.hp-ez.com/hp/naganobetsuin>

